

海外安全対策情報 平成25年度第4四半期

1. 社会・治安情勢

(1) 1月11日13時半頃、バトケン州バトケン地区のキルギス・タジキスタン国境において、キルギス国境警備隊員とタジキスタン国境警備隊員の間で銃撃戦が発生し、双方に負傷者が出た。

(2) 1月15日に投票が行われたオシュ市長選挙に関連し、同日、落選した前オシュ市長の支持者2千人が市庁舎前にて集会を実施した。なお、その後、平和的に解散された。

(3) 1月23日、イシククリ州の対中国国境付近において、中国側から不法に越境してきたウイグル人と思われる11名が、狩猟中であったキルギス国民1名を刃物で殺害し、所持していた猟銃が奪われた。その後、不法越境者とキルギス国境警備部隊との間で銃撃戦が発生し、一時、温泉場に立て籠もって抵抗したが、同日中に11名全員が抹殺された。

2. 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

殺人、強盗等の凶悪事件が散見される他、空き巣、公共交通機関やバザールでのスリ、置き引き等の窃盗事件が日常的に発生している。日本人は、路上強盗、窃盗、また官憲による賄賂の要求等に特に注意を要する。

(1) 殺人・強盗等、凶悪犯罪の一例

ア 1月9日夜、ビシュケク市内南部の路上において、個人タクシーの運転手が乗客の女性1名を刃物で刺し、現金等を強奪したうえ、女性をタクシーから振り落として逃走した。なお、被疑者は検挙されている。

イ 1月11日朝、ビシュケク市内中心部の路上に設置されたゴミ箱内から、バラバラに切断された女性の死体が発見された。捜査の結果、被疑者と被害者は顔見知りで、被疑者が自宅にて被害者を殺害したうえ、遺体をバラバラに切断して遺棄したことが判明した。なお、被疑者は検挙されている。

ウ 3月14日朝、ビシュケク市内の道路脇側溝において、女性が両手を後ろ手に縛られ、顔にビニール袋をかけられた状態で死亡、遺棄されているのが発見された。現在、警察が捜査中であるが、被疑者については未だ検挙されていない。

エ 3月20日早朝、ビシュケク市北部の路上において、車が銃撃されたとの通報を受け警察が急行したところ、血痕とともに無人の車が放置されているのが発見された。現在、警察で捜査中であるが、詳細は判明していない。

(2) 邦人被害

認知していない。

3. テロ・爆弾事件発生状況

(1) テロ事件

認知していない。

(2) 爆弾事件

3月27日午後6時ころ、チュイ州トクモク市において、キックボクサーの男性が自己が所有する車に乗車したところ、爆弾様のものが爆発し死亡した。現在、警察で殺人事件として捜査中であるが詳細は不明である。

4. 誘拐・脅迫事件発生状況

認知していない。

5. 日本企業の安全に関する諸問題

キルギスでは、1999年8月に南部バトケン州において、邦人4名等が過激派武装勢力により誘拐されており、注意を要する。